

## チーム医療：褥瘡回診（褥瘡対策委員会）

### —概要—

褥瘡対策委員会のメンバー構成は医師、看護師、薬剤師、栄養士、作業療法士、事務職の多職種で構成されている。褥瘡対策委員会は2カ月に1度開催され院内の褥瘡対策指針・対策マニュアルの作成や修正を行なっている。また褥瘡回診チームを編成し全病棟の回診、褥瘡患者管理に関する助言・指導を行っている。その他、体圧分散マットレス等の褥瘡発生予防器具の効率的な配置・使用、創傷被覆材料などの新規購入検討、院内研修に加え、日本褥瘡学会学術集会への参加研修を通して褥瘡対策のアップデートを行っている。2014年度はマットレスの更新に備えて委員会内で多種類のマットレスを検証し、用具の選定を実施した。

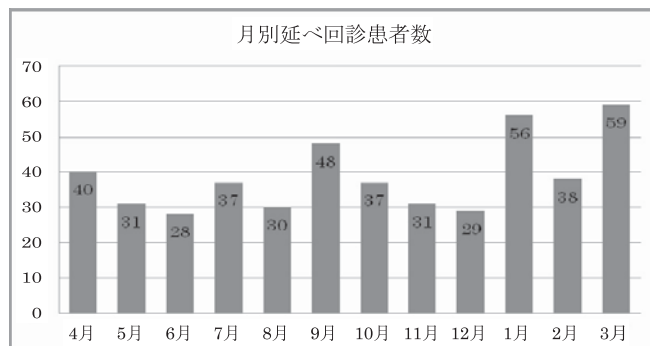
褥瘡回診は毎週火曜日の午前中に医師・看護師・薬剤師・栄養士からなる多職種のチームメンバーで病棟回診を行っている。お互いの強みを生かしながら褥瘡を有する患者に対してよりよい医療が提供できるように協力している。回診の対象となる患者はNPUAP分類でⅠ度以上の患者と医療機器関連圧迫創の患者としている。頻回の排泄物による皮膚障害が発生した患者に対しても病棟から依頼があれば褥瘡回診時にラウンドし処置やケアについてアドバイスをを行っている。褥瘡を有している患者の栄養に対しては栄養士が中心となりNST回診と連携を図っている。また、看護局の褥瘡・NST委員会と共同し2012年度から継続して全病棟のエアマットの使用状況、修理状況の調査や体位交換用枕の在庫数および使用状況の調査を行った。マットレスのへたりの確認方法についてリンクナースに対して学習会を行い、病棟内のマットレスのへたりに関して調査を実施した。



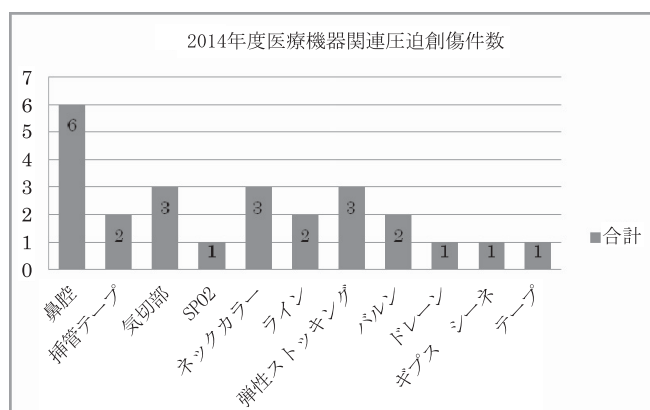
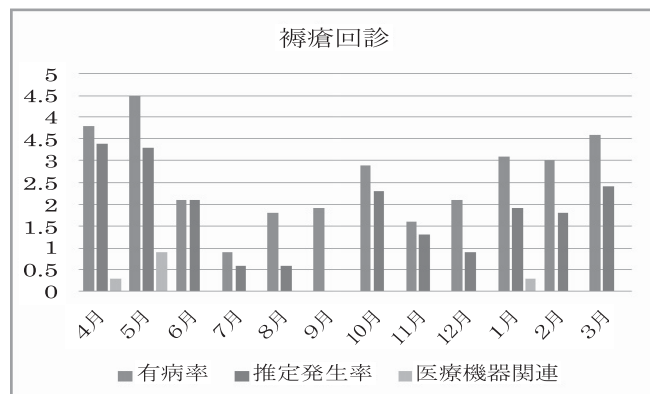
### —実績—

#### <2014年度褥瘡データ>

延べ入院患者数125,234人中、褥瘡回診対象者は延べ464名であった。（月別回診者数は下記グラフ参照）



2014年度褥瘡推定発生率は1.7%、褥瘡推定有病率は2.6%、医療機器関連圧迫創推定発生率は0.13%であった。調査日を第1火曜日（休日・回診中止の場合、翌日火曜日とする）とし対象患者は調査日の入院患者として算出。



#### <褥瘡研修会>

褥瘡研修会として【褥瘡のケア方法と医療機器関連圧迫創傷】、【褥瘡管理登録と記録】の2テーマでの研修会を企画した。研修会は各病棟のリンクナース及び褥瘡・創傷エキスパートコースを修了した看護師と協力し各病棟に訪問して研修会を実施した。